

事業所名

みのり

支援プログラム（児童発達支援・放課後等デイサービス）

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念		一人ひとりが尊重され安心し、自分らしく穏やかに生活を送るための支援を行う							
支援方針		主体性を大切にしながら、自発的な行動や発信ができるよう支援します。 一人一人の特性を理解し、発達を促しながら生活能力の向上を図っていけるよう支援します。							
営業時間		10時	0分	から	17時30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	家庭、学校など周りの関係機関と連携を取り情緒、健康状態を把握し異常のある場合は適切な対応を行います。 身辺処理（身だしなみ、持ち物の管理など）基本的な生活習慣（食事、排泄、手洗い等）など発達に応じ自分でできることを増やし、主体的に行うことができるよう支援します。							
	運動・感覚	体幹を鍛えながら、偏り無く体を使っていけるよう活動を組み立て、日常生活に必要な基本的技能の向上のための支援を行います。 様々な活動（遊び）を通し五感（視覚…みる、聴覚…きく、嗅覚…かぐ、味覚…あじわう、触覚…さわる）を刺激し感覚の成長を促していけるよう支援します。							
	認知・行動	その日の活動について、視覚的な技法を用い情報を適切に処理、見通しを持って行動できるよう支援します。 活動（遊び）の中で物の名前、大きさ、数など認知機能の発達を促していきます。 戸外に出かけ、季節の移り変わりを感じたり社会のルール（交通ルールや公共施設の使い方など）を理解したり適切に行動に移すことができるよう支援します。							
	言語 コミュニケーション	安心できる関係を基盤に、自分の思いを伝えたい気持ちを高め自分なりの方法で自分の思いが出せるよう支援します。 人との関わりを心地よく感じ、自分なりの方法で意思を伝え、またそのスキルを高めていけるよう支援します。 言葉の理解や状況に応じた使い方などを身に付けていけるよう支援します。							
	人間関係 社会性	人への関心を高め、模倣（まね）から遊び（ごっこなどの象徴遊び）へ、1人遊びから協同遊びへと移行することにより、役割やルールなど社会生活に必要な発達支援を行います。 様々な経験を重ねながら、友達と場を共感したり一緒に活動する楽しさを感じ、達成感を感じ意欲に繋げていけるように支援します。							
家族支援		家族全体（本児のご両親やきょうだいなど）に対し本児の進路や生活における困りごとなどの相談に応じます。また、児童福祉制度の利用や、学校卒業後の地域生活に関する情報提供支援を行います。				移行支援		入園、入学など本人の生活環境の変る時など、安心して円滑に移行が行えるよう、関係機関と調整と情報交換等を行います。	
地域支援・地域連携		地域の公共施設を利用しながら事業所以外の子どもたちや大人と関わる機会を作っていきます。				職員の質の向上		定期的に職員に対し研修（個別支援と計画の作成、コミュニケーション支援、福祉制度、虐待防止と身体拘束非常災害対策、感染対策等の衛生管理、保護者対応など）を行います	
主な行事等		季節の行事（お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス会など） クッキング、お祭り、プール活動、芋掘り、買い物学習活動ほか 防災訓練（避難訓練、消火訓練、その他避難場所の確認など）							